

区自治協議会提案事業 事業評価書

江南区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	まちづくりサポートプロジェクト 【事業費予算1,050千円】
事業目的・概要	【目的】 区内で実施するイベント等に自治協議会として関わりを強化し、江南区や自治協議会をPRするとともに、今後の区のまちづくりに向けて、勉強会等を行う。 【概要】 ・新潟ハーフマラソンに江南区自治協議会として協力し、区や自治協議会の認知度向上を図る。 ・区内の公共交通に関する課題の洗い出しを行う。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	◎新潟ハーフマラソンへの協力 マラソンコースの大部分が江南区を走ることから、江南区や自治協議会をPRするため、自治協議会として大会運営に協力した。 ●開催日: 3月18日(日) ●大会参加者: 約5,000名 【実施内容】 ○江南区自治協議会ブースの設置・運営(6名) ・区の概要、自治協議会の概要、江南区親善大使を紹介するパネルを設置。 ・ランナーが完走後、江南区親善大使と記念写真が撮れるよう親善大使の大きなパネルをブース前に設置。 ・区誕生10周年記念歌「ふるさと江南区」をブース内で流した。 ○給水所の運営協力(10名) ・JA新潟みらい亀田郷前の給水所の運営に協力。 ○江南区の特産品の紹介 ・各部門の優勝者へ、区の特産品をPRするため、亀田縞の風呂敷を提供。 ・総合部門優勝者の男女各1名には、越後姫の詰め合わせも提供。 (その他) まちづくり部会の中で、現状の区内の公共交通に関する課題の洗い出しを行った。
事業の評価 (地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)	【新潟ハーフマラソン】 ○昨年度から大会には協力しているが、今年度は自治協議会の専用ブースをゴール付近に設置し、区や自治協議会のPRを図ることができた。 ○親善大使のパネルについては、ランナーと一緒に写真を撮り、SNS等での情報発信により区のPRに貢献できた。また、パネルは持ち運びがしやすいものを作成し、今後区内で行われる様々なイベントで使用が可能であり、汎用性のあるものとした。 ○区の特産品を提供することで、自治協議会だけでなく、江南区の良さを広く周知することができた。 【公共交通に関する勉強会】 ○部会で、現状について課題の洗い出しを行ったが、新潟ハーフマラソンや区誕生10周年記念式典に関する事項の検討も並行して行っていたため、深い議論まで至らなかった。 ○部会では、商店街の空き家に関する課題も挙がったことから、次年度は、空き家に関する現状調査と公共交通の移動ニーズの検証などを行う。
備考	